



営農タイムリー！



発生予察情報について(11月-1)

2023年10月23日発行

京都府病害虫防除所 11月の予察情報より。

7. ネギ ネギアザミウマ

予報内容 発生量 : **平年比やや多い(前年比やや多い)**

ネギアザミウマ類

形態 : 成虫は体長0.8~1.5mm、淡黄~淡褐色の紡錘形、卵は長さ0.26mmでまが玉形、幼虫は体長0.3mm、白~淡黄色紡錘形。

生態と被害 : 年5~10回発生、成虫で根ぎわや草むらの中で越冬する。繁殖は単性生殖で、葉肉内に産卵する。

高温寡雨の気象条件で急増する。成幼虫とも茎葉や花の中に生息し、表皮を舐食する。タマネギを好み、北海道では春植えのためその被害は大きい。一方西日本では葉ネギの被害が大きく、品質を著しく低下させる。

■ ネギアザミウマ(アザミウマ類)の防除体系例

育苗期に

播種時・定植時に

28 ベンマーク SC

[400倍 / セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)あたり0.5L / 育苗期後半~定植当日 / 灌注/1回]

4A

スターフル 粒剤 [は種時 / 播溝土壌混和 又は 定植時 / 株元散布 / 1回]

ダントツ 粒剤 [は種時 / 作条処理土壌混和 又は 植付時 / 植溝処理土壌混和 / 1回]

発生が認められたら

28 プリロツン 粒剤 オメガ

[収穫前日まで / 株元散布 / 3回以内]

4A
28

ミネクト デュオ 粒剤

[収穫3日前まで / 株元散布 / 3回以内]

30

グレース 乳剤 [2000~3000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内]

プロレア SC [2000~4000倍 / 収穫前日まで / 3回以内]

4A

アクタラ [1000~2000倍 / 収穫3日前まで / 3回以内]

ダントツ 水溶剤 [2000~4000倍 / 収穫3日前まで / 4回以内]

ベストガード 水溶剤 [1000~2000倍 / 前日まで / 3回以内]

un

プレオフロアブル

[1000倍 / 収穫3日前まで / 4回以内]

29 クララ DF

[1000~2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内]

34 ファインセーブフロアブル

[1000~2000倍 / 収穫3日前まで / 2回以内]

ローテーション散布

5

ティアナ SC [2500~5000倍 / 収穫前日まで / 2回以内]

6
15

アフーム エクセラ 顆粒水和剤 [アフーム+マッチ]

[1000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内]

21A
F:39(C1)

ハチハチ 乳剤

[1000倍 / 収穫7日前まで / 2回以内]

28

ベネビア OD

[2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内]

ヨーバルフロアブル

[2500~5000倍 / 収穫3日前まで / 3回以内]

15

カスケード 乳剤

[4000倍 / 収穫14日前まで / 3回以内]

8. ネギ ネギハモグリバエ

予報内容 発生量 : 平年並 (前年比やや多い)

ネギハモグリバエ

特徴 : ネギ、タマネギの葉肉を加害する。

形態 : 体長2mmのハエ、幼虫はウジ状。

生態と被害 : 越冬は蛹で土中で行う。4月頃から発生し、年5~6世代をくり返す。葉肉内にもぐり、葉肉を加害するため、食痕が線状の白斑になる。5月および8~9月に発生が多い。

防除のポイント: ● 苗床および定植時を重点に防除する。



■ ネギハモグリバエ(ハモグリバエ類)の防除体系例

育苗期に

播種時・定植時に

28 **ベリマーク SC**

[400倍 / セル成型育苗トレイ1箱または
ペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土
壌約1.5~4L)あたり0.5L
/ 育苗期後半~定植当日 / 灌注/1回]

4A

スタークル 粒剤 [は種時 / 播溝土壌混和 又は
アルバゾン 粒剤 定植時 / 株元散布 / 1回]

ダントツ 粒剤 [は種時 / 作条処理土壌混和 又は
植付時 / 植溝処理土壌混和 / 1回]

28 **プロロツン** 粒剤 **オメガ**

[収穫前日まで / 株元散布 / 3回以内]

4A

28

ミネクト デュオ 粒剤

[収穫3日前まで
/ 株元散布 / 3回以内]

発生が認められたら

30

グレースィア 乳剤 [2000~3000倍
/ 収穫7日前まで / 2回以内]

フロフレア SC [2000~4000倍
/ 収穫前日まで / 3回以内]

4A

アクタラ [1000~2000倍
/ 収穫3日前まで / 3回以内]

ダントツ 水溶剤 [2000~4000倍
/ 収穫3日前まで / 4回以内]

ベストガード 水溶剤 [1000~2000倍
/ 前日まで / 3回以内]

34 **ファインセーブ**
フロアブル

[1000~2000倍
/ 収穫3日前まで / 2回以内]

ローテーション散布

5

ディアナ SC [2500~5000倍
/ 収穫前日まで / 2回以内]

6

15

アフームエクセラ 顆粒水和剤
[アフーム+マッチ]

[1000倍 / 収穫7日前まで / 3回以内]

21A
F:39(C1) **ハチハチ** 乳剤

[1000倍 / 収穫7日前まで
/ 2回以内]

28 **ベネビア OD**

[2000倍 / 収穫前日まで / 3回以内]

ヨーバル フロアブル

[2500~5000倍 / 収穫3日前まで / 3回以内]

アルバゾン
フロアブル

[2000倍
/ 収穫3日前まで / 3回以内]

15

カスケード 乳剤

[4000倍 / 収穫14日前まで
/ 3回以内]

9. 野菜類全般 シロイチモジヨトウ

予報内容 発生量 : **平年比やや多い (前年比やや多い)**

■ **ねぎ**の主要害虫 シロイチモジヨトウ

形態 : 成虫は体長約11mm、開張25~29mmの灰褐色の夜蛾。ヨトウムシ類の中では小型。幼虫は成長すると約30mmで、緑褐色または灰褐色。

生態と被害 : 西南暖地では年間約5世代。越冬は不明であるが、野外でも幼虫越冬している可能性がある。**卵は主に葉の表面に卵塊で産まれる(ネギの場合)**。卵期間は2~3日。幼虫は3齢くらいまで群生し、5齢を経て蛹化。幼虫期間は夏期で約2週間。蛹化は地表面近くの土中で行われ、蛹期間約1週間。成虫は夜間に飛来し、1雌当り1000個前後産卵する。数多くの作物を加害するが、被害は特にネギ類が多い。ふ化した幼虫は表皮を若干食害したのち、短時間に葉内に潜入する。

防除のポイント :

- **中・老齢になると極端に薬剤に強くなるので、薬剤はふ化幼虫期に散布する。**

卵



蛹



幼虫



成虫



■ シロイチモジヨトウの防除体系

発生が認められたら

